



日置建設(株) 明石市



代表取締役
日置 尚文

兵庫県中小企業新事業
展開応援事業を活用して

- ECサイトを開設した
- 情報発信をさらに強化した
- 地域のファンを獲得できた



オリジナルを含めインテリアグッズが充実の品ぞろえ

健康住宅とオリジナルDIYグッズで コアなファンを増やす

雑貨店を住宅購入の入り口に

同社は住宅会社として1970年に日置尚文社長の父親が創業。今年で53年目を迎えました。日置社長はゼネコンを経て30歳の時に入社しました。自身、アトピー性皮膚炎を患っていたことから、^{もく}無垢材や塗り壁、和紙など自然素材を使った注文住宅に特化することを決断。高気密・高断熱による良好な空気・温度環境と省エネにもこだわり、「健康長寿を支えるエコな住宅づくり」を提案し続けています。

6年前、知り合いからJR大久保駅前での出店を依頼され、雑貨店「WAKU+AKASHI (ワクタスアカシ)」をオープンしました。店内にDIYスペースを設け、「インパクトドライバーだけで組み立てられる雑貨」も並べました。「DIYを入りにリフォームや住宅に関心を持ってもらい、本業にもつながればと考えました」と狙いを話します。

店は軌道に乗りましたが、コロナ禍で客が激減してしまったのを機に、1年半前に本社1階に移転することを決断します。兵庫県の中小企業新事業展開応援事業を活用し、ECサイトも開設しました。「ECサイトは競争が激し

く、仕入れ商品を扱って他社と同じものを並べても目に留めてもらえない」と考えました。

そこで、店で扱っていた商品に加え、木に輸入壁紙を張り付けてできるインテリアパネルや飾り棚などオリジナルのDIYグッズも新たに開発しました。2階にはオリジナルの組み立て家具等の展示スペースや地域の人が気軽に利用できるレンタルワークショップスペースも設けるなど、移転前と比べてより多くの人が集まるようになりました。

モデルハウスの建築過程を公開

「住宅は一生で最も高い買い物なので、どうしても本社を訪ねるハードルが高くなりがちです。しかし、ワクタスのお客様が気軽に訪れるようになり、住宅やリフォームの成約率も上がっています」と手応えを感じています。

かねてよりブログを毎日のように発信していた日置社長。コロナ禍をきっかけに住宅に対するこだわり、収納方法の提案、見学会の案内などをInstagramやYouTubeで積極的に発信するようになり、フォロワーの増加とともに、来訪者も着実に増やしています。

制度利用までの流れ

2021年7月

地元商工会議所へ
事業計画書を提出

9月

県の採択決定通知
を受け、事業着手

2022年2月

事業完了後、実績
報告書を提出

3月

助成金の入金



店内のDIYコーナー



収納のアイデアも提案しています

来年3月には近所に取得した土地にモデルハウスが完成予定とのこと。「10月に着工します。完成までのプロセスを逐次公開することで健康住宅に関心を持ってもらい、地域のファンをさらに増やしていきたい」と意気込みます。

日置建設株

明石市大久保町江井島1748-2

T 078-936-4320 H <https://www.k-hioki.com>

●代表取締役/日置尚文

●事業内容/建設業

兵庫県中小企業 新事業展開応援事業

コロナ禍や原油・原材料価格高騰に対応したビジネスモデルの再構築や新事業展開を応援します。

【補助期間】交付決定日～2023年1月

【対象経費】建物改修費、設備導入費、システム導入費、
広告宣伝費など

【申請期間】8月26日(金)(必着)までに最寄りの商工会・
商工会議所へ

利用メリット

- ビジネスモデルの再構築(業態やサービス提供方法等の変更や追加)や新たな事業展開に係る経費について補助を受けられます。
- 商工会・商工会議所から事業計画等に関する助言が受けられます。

問 兵庫県地域経済課

T 078-362-3326

※詳細については県ホームページをご覧ください



だけ

あなたの本を

「オーダーメイド」

<https://kobe-selfpub.jp>
 KOBE 自費出版 web
 こちらから



自費出版

見積り無料

まずは電話かメールでお問合せください

TEL. 078-362-7140

✉ jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp



神戸新聞総合出版センター
 株式会社 神戸新聞総合印刷
 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7